

メンバーシップ研修 ～信頼されるチームの一員として～

新卒者67名が、「メンバーシップ研修」を受講しました。新卒者は、「先輩看護師の行っていた印象に残るチームメンバーとしての看護実践場面」を振り返り、意見交換を行いました。意見交換では、なぜその場面が印象に残っているのか、先輩看護師の行動の意味について話し合ったことで、自己では気づけなかった新たな視点や学びを深めていました。そして、チームの一員として、自分たちがどのような行動を取る必要があるのか、明日からの看護実践につながる具体的な行動や自己の課題を明らかにできていました。



様々な患者・家族と接し、チームとして協働して医療を提供する看護職にとって重要な能力である社会人基礎力についての講義があり、真剣に聴講していました。



他部署の同期との意見交換は、はじめは固い雰囲気でしたが、徐々に緊張感はほぐれ、活発な意見交換がされていました。



自らが積極的に報告・連絡・相談をしていく発信力を持つ必要があると学んでいました。

また、視野を広く持ち、周囲の状況を配慮した行動がとれるような状況把握力が必要であると話し合われていました。



全体会では、それぞれのグループでの学びを共有しました。チームの一員としての自覚を持って働くことが、患者へのより良い看護ケアに繋がっていくことを学んでいました。

